

導入事例：情報通信業

導入企業

グリー株式会社

業務負荷の大幅削減を目指し、SAMS を採用

課題

- ビジネスを支える社内システムの安定稼働と性能の維持。
- 運用業務の妨げとなる、不要なアラートの削減。
- 信頼できる運用パートナーからの提言に基づくシステム改善。

SAMS



効果

- 障害や性能劣化の予兆を事前に把握し、システムの安定稼働を実現。
- 定例会ごとでの監視設定の見直しにより、不要なアラートが減少。
- SAMS レポートを参考に、トラブルを未然に防ぐためのシステム改善を実施。

トラブルを未然に防ぐ対話型 MSP サービス「SAMS」

ネットワークシステムの性能監視に長年携わってきた性能分析のノウハウを活かし、将来的に障害を発生させないインフラ環境を目指すサービスです。24時間365日の有人監視体制で、お客様に代わってシステムの安定稼働・即時の障害対応・原因究明・分析をサポート。従来はお客様自身が対応していた分析や改善策の提案までを行うことで、トラブルの未然防止からコスト削減までを実現する次世代 MSP サービスです。

※ サービスメニューにより提供される内容が異なります。

System Answer シリーズ

性能監視を行い

- 予防保守
- 問題の最適な切り分け
- キャパシティ管理を実現します。



性能レポート

性能情報を可視化し

- 稼働状況レポート
- 設備計画レポートを作成します。



コンサルティング

当社技術員が訪問し

- 障害の原因究明
- 改善提案を実施します。



GREE

社名 グリー株式会社
 設立 2004年12月
 従業員 1,429人（グループ全体・2018年3月末現在）
 所在地 東京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワー
 事業内容 ゲーム事業、ライブエンターテインメント事業、メディア事業、広告事業、投資事業



グリー株式会社は、「インターネットを通じて、世界をより良くする。」というミッションを掲げ、ゲーム、メディア、広告事業を展開する総合インターネット企業です。主軸となるモバイルゲーム事業では、スマートフォンの普及に伴いWebゲームからネイティブゲーム開発へとシフト、数々のヒット作品を創出しています。また、新たな事業の柱としてライブエンターテインメント事業にも参入、そのビジネス領域を拡大させています。

“通うMSPサービス”が、 運用管理の負担を解消しシステムの安定稼働を支援

円滑な業務遂行には、
システム監視の仕組みが不可欠

日々、革新的なサービスを世に送り出し続けているグリー株式会社（以下、グリー）。同社の情報システム部門にとって重要なミッションの一つが、社内ユーザーがストレスなく快適に業務を行えるよう、サーバー、

ネットワーク、アプリケーションのトラブルを回避し、安定した性能を維持することです。グリー 開発本部 情報システム部 IT基盤&オペレーションチーム マネージャーの鈴木敏之氏は「そのためにも死活監視、性能監視の仕組みが不可欠です。実際にシステム監視サービスを利用し、サーバーやネットワーク機器、およびチケット管理ツールや情報共有ツール、メンテナンスシステムなどの多くのアプリケーションを監視しています」と説明します。



グリー株式会社
開発本部 情報システム部
IT基盤&オペレーション
チーム
マネージャー
鈴木 敏之 氏

また、同チームのシニアエンジニアの上堂園徹氏は「そうした中、私たちがシステム監視サービスに求めていたのは、クリティカルな障害の予兆や発生を的確に判断し、必要な時にだけアラートをあげてくれる仕組みでした。不要なアラートは業務の妨げにもなりかねませんし、監視サービス側で障害の原因究明や問題の切り分けなどの一次対応を行ってくれば、迅速な問題解決にも繋がります」と話します。



グリー株式会社
開発本部 情報システム部
IT基盤&オペレーション
チーム シニアエンジニア
上堂園 徹 氏

そうしたグリーが求める要件を満たしたものが、アイビーシーが提供する24時間365日の有人監視サービス「SAMS」でした。



定例会で監視項目を精査、
効果的なリソース増強も実現

グリーがSAMSを導入した理由には、実績のある性能監視ツールの活用と高度な分析力に基づいたサービスであったことに加え、試験運用時の監視項目の精査やアラートのチューニング、および運用開始後におけるアイビーシーのサポートを評価したことにありました。同じくIT



グリー株式会社
開発本部 情報システム部
IT基盤&オペレーション
チーム
磯田 典宏 氏

基盤&オペレーションチームの磯田典宏氏は「アイビーシーとの定例会で、都度、監視設定を見直したことで、不要なアラートが大幅に減少し運用負荷が抑制されました。また、定例会ではしっかりした分析が施されたSAMSレポートが提出されるほか、アイビーシーからの提言が、効果的な社内リソースの増強やトラブルを未然に防ぐためのシステム改善につながっています」と評価。鈴木氏も「“今月はこのマシンの挙動がおかしい”など、アイビーシーのスタッフはかかりつけの医師のようなヘルスチェックをしてくれます」と続けます。

安定したシステム稼働を維持、
今後はSAMSの
活用範囲拡大も検討

グリーは、SAMSの導入によりトラブルの予兆を捉えて未然に防げるようになったことで高いシステム稼働率を維持できているといいます。鈴木氏は「SAMSの導入を契機に、障害が発生した場合であってもいち早く把握できるような仕組みが実現できたと考えています。また、迅速な原因特定により、障害から復旧までの時間も短縮されました」と説明。今回のプロジェクトを担当したアイビーシーの親崎慎吾は「SAMSは“障害を発生させないインフラ環境の実現”をコンセプトとしたサービスです。今後もグリー様のシステムの安定稼働、そして円滑なビジネスの推進に貢献していきたいと考えています」と強調します。

鈴木氏が「もう一歩踏み込んだ基幹系システムの監視にもSAMSが活用できるのでは、と考えているところです。そして、アイビーシーには今後も変わらない手厚いサポートを望んでいます」と述べたように、今後の展開へ期待が寄せられています。



アイビーシー株式会社
ソリューション&
サービス本部
SAMSグループ
主任
親崎 慎吾